

和合

No.145

2022. 3. 15

題字：三浦修次



主な掲載記事

- | | | |
|--------------------------|---------------------|--------------------|
| • 和合の里あれこれ……………2 | • はやぐおっきぐなれの～！…3 | • 季節の郷土料理……………3 |
| • よつぱつこ通信……………4 | • わたしが描く和合の里…………5 | • わたしから見た和合の里…………5 |
| • もっしえけの まだかだつての～！……………6 | | • 人生100年時代……………8 |
| • わごう駐在所……………8 | • 和合の里INFORMATION…9 | |

和合の里 あれこれ

【連枝編】

連枝興邑社

連枝興邑社は昭和3年（1928年）に部落民が一丸となって疲弊した農村部落を立て直そうと立ち上がり、村づくりの方針を定め、推進団体として立ち上げたのが始まりです。

活動の一環として、共同農場を所有して共同耕作によって収益を生み出す方策も取られ、3町歩ほどの農場での共同耕作が始まりです。昭和

12年（1937年）には酒田市（旧松山町）小見川原の農場を取得し、大豆や馬鈴薯の作付けを行い、種まきや収穫などの季節ごとの作業は部落総出の共同作業です。その姿は壮観なものでした。収益は、部落でなにか購入するときや新たに事業をするときの資金になります。また、昭和11年（1936年）には山を取得し、農閑期には部落総出で薪を拾いました。公民館で利用したり、また、各家庭にも焚く以外に各家庭にも配られました。これらのことから他の部落に先駆けて公益、福祉的事業に取り組んだと伝えられています。

農地法が改正され、農業構造改善が迫られたことから昭和41年（1966年）に組合員共通の利益の増進や農業経営の近代化を目指した見直しが行われ、農事組合法人連枝興邑社を新たに設立し、組織内に営農部門と農場部門がおかれしました。

平成になると会員の職業の多様化や時代の変遷等により連枝興邑社の機構改革の声が高まり、平成7年（1995年）に機構改革が行われ、組織内から営農部門を切り離し、これを実行組合として独立させることや農場は全て個人に委託すること、財産の維持管理は部落役員と兼任することが決定されました。

連枝興邑社は平成22年（2010年）に行われた連枝巖島神社350年祭へ支援を行い、また、令和2年（2020年）には所有の山が風車の用地に選定されるなどこれからも部落の地域秩序の維持と経済活動に貢献します。



↑ 連枝興邑社の収納庫

先輩感謝の会

先輩感謝の会は他の部落でいうところの敬老会にあたります。

はじめは「敬老会」だったのですが、「敬老会」というと自分が高齢になったと意識することから改め、「自分たちを育ててくれた先輩達に感謝する会」に名称を変更しました。

この名称がいいと他の部落の人から言われることもあるそうです。

令和3年度は中止しましたが、例年の先輩感謝の会では紅白餅が贈られ、料理とお酒でお祝いをします。

巖島神社の鰐口

巖島神社の鰐口は平成6年（1994年）4月に庄内町の文化財に指定されました。

この鰐口は青銅製で、表裏中央部に丸い花形の撞座^{つきざ}があり、表面には次の刻銘があります。

「羽州庄内田川郡廻館村^{おんいもじ}」、「御鑄物師^{ちよつきよ}」、「勅許 太田善兵衛」、「藤原正吉作」、「文政十三（1830）庚寅歳十一月日」

作者の太田善兵衛は、廻館に居住し、田川、飽海及び由利三群の鑄物を差配した大山の伊藤助右衛門の配下で、松島藩領分に限定した鑄物師として勅命を受けたことで知られています。



パパとママにインタビュー

はやぐおっきぐなれの～!



ち なつ
上野 知夏ちゃん

(古関)

令和3年7月3日生まれ

パパ：聖喜 ママ：由麻

- ① 知夏が生まれた日の空には壮大な雲が湧いていました。そんな「夏の雲」の様に生命力が満ち溢れる様、そして大切にしている言葉「温故知新」から一文字拝借し、知夏と命名しました。
- ② 絵本が好きな様ですね。大声で泣いていても、絵本を広げるとすぐに泣き止みます。それとやっと寝返りを打てる様になりました。ふと気付くと、よくうつ伏せになっています。
- ③ 生まれた時から髪の毛がふさふさで、5ヶ月頃まではどんなにクシでとくしても跳ね返すほどのモヒカンでしたが、6ヶ月を過ぎた頃からは一気に大人しくなりました。
- ④ よく足を擦り合わせる子なので出先でもよくスリスリしているらしく、気付くと靴下が片方行方不明になってしまい、探しに戻ることもしばしばあります。
- ⑤ 生まれてきてくれてありがとう。知夏のペースで、知夏の思うように、知夏らしく大きくなってね。これからたくさん思い出作ろうね。



Q1 名前の由来は？ Q2 今一番の興味やはまってることは？ Q3 最近記憶に残ったエピソードは？
Q4 パパママの失敗談（子育てあるある） Q5 パパママからのメッセージ

季節の郷土料理



うるいのお浸し

◆ 材 料【2人分】

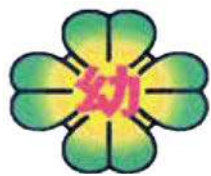
- ・うるい……1束
- ・白だし……20cc
- ・醤油……小さじ1
- ・水……150cc
- ・かつお節…少々

◆ 作り方

1. うるいを5cm幅で切る。
2. 1を洗い、軽く水を切った後、耐熱ボールに入れ、600wの電子レンジで1分半加熱する。
3. 容器に白だし、醤油、水を入れ、混ぜ合わせる。
4. 2を器にうつし、3をかけ、かつお節をかけて完成。

○ ポイント

- ・すぐに食べるのも美味しいですが、30分ほど冷蔵庫で味をなじませてもおいしい。
- ・白だしの量はお好みで調整してください。



よつばっこ通信



あったか〜い地域の皆さんありがとう！

今年度も、たくさんの地域の皆さんにお世話になりました！
綺麗なお花、美味しい果物、枝豆、畑に野菜の苗、綺麗な声を
響かせる鈴虫、川蟹、水遊び用にベビーバス、砂場用具入れ、
田植え体験、可愛い干支人形、鬼のお面プレゼント、焼き芋用
の落ち葉、園で飼育している亀さんにミミズの餌！その他にも
たくさんのご厚意をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

園外保育で地域を歩くと「めっこいの〜」と声をかけていた
だいたこともありました。あたたかい地域の皆さんに見守られ
て、幼稚園の子ども達は本当に幸せだと感じています。

地域の皆さんの愛情を感じながら、子ども達は元気に
大きく成長しています。本当にありがとうございます！

季節ごとの綺麗なお花に
いつも癒されました！
「きれいだね〜！」



玄関で鳴く鈴虫の声に
耳を傾けて・・・
「いい音♡」「見て！
羽が動いてるよ！」「何
食べるの？」お友達と
図鑑を片手にじっくり
観察しました。



みんなで「枝豆もぎ」
をしました。一つひと
つ丁寧にとりました。
「お家でもしたことあ
るよ〜♡」みんなで
ワイワイ賑やかに頑
張りました！



余目第四小学校 6 年生

わたしが描く和合の里



荒木 そら
【沢新田】

わたしが好きな「和合の里」は、春になると桜がとってもきれいで、夏になると暑いけど、自然がいっぱい周りがあるのでたくさん遊ぶことができ、秋になると周りにたくさんの黄金色の穂が並び、冬になると雪がいっぱい積もるので雪遊びがたくさんできます。そんなすてきな和合の里をこれからもずっとずっと残して行ってほしいです。



加藤 きら
【主殿新田】

ぼくの好きな「和合の里」は、みんなが仲よく、自然のたくさんある和合の里です。あいさつをしたら、地いきの人、和合の人みんながあいさつをしてくれるのがうれしいです。自然は、いろいろな動物や木があるから大好きです。和合の里がいつまでもきれいで、自然のたくさんあるままでいてほしいです。



石崎 まほ
【廻館】

私が描く「和合の里」はきれいな緑が一面に広がり、自然豊かな場所だと思います。たくさんの自然とふれ合うことができ、友達との遊びでも楽しく、みんなとのきずなも深まります。これからも、自然豊かで笑顔いっぱいの和合の里であってほしいです。



百瀬 りゅうき
【小出新田】

ぼくは、この和合の里がよりよい、いつでも明るい地域であってほしいです。
ぼくが好きな和合の里の風景は、田んぼが多くあって、緑がおいしげっている風景です。
ぼくが大人になっても、色んな生きものやたくさんの緑であふれる和合の里にしていきたいです。



佐藤 かのん
【大真木】

わたしが好きな「和合の里」の風景は、きれいな月山と学校の桜です。春になると、桜が月山の景色に入って、とてもきれいです。毎年きれいだなあと思って見ているけれど、少し桜が少なくなっているようなので、もっと大切にして、これからもずっときれいな四小の桜をさかせたいです。

わたしから見た 和合の里



余目四小に赴任して、四年目になります。親戚がいるため何となく知っている地域ではありませんでしたが、最初の二年間、今の六年生を担当し、一緒に勉強する中で、和合の里には魅力的なものや古くから伝わる伝統行事がたくさんあることを知りました。その一つが、「亀の尾」です。

庄内町立余目第四小学校
教諭 田中 愛美

初めて亀の尾を食べた時の感動は、今でも忘れられません。はえぬきと比べても遜色がないほどおいしく、寒さや強風にも強い品種が百年以上も前に開発されたことに驚かされました。私欲に走らず研究し続けた阿部亀治の粘り強さ。和合の里はそんな精神が根付いた地域であるのだと思います。
また、四ヶ村や西袋、古関の「獅子」、南野の「剣の舞」、京島の「いっとごしよ」、廻館の「やつこふり」、古関の「御神子」などたくさんの伝統行事があり、子どもたちが調べる中で、地域の方々やお家の方々が熱心に教えて下さったことにも感動しました。地域全体で子どもたちを育てていくという姿勢が、元気で人懐っこい子どもたちが伸び伸びと育っている姿からも伝わってきます。
そんな素敵な余目四小で勤務できることに感謝し、これからも和合の里の魅力を見つけていきたいです。

もっしえけの！まだ、かだっでの～！

令和3年度
事業参加者の声

■和合大学院「悠遊塾」



長谷部 幸 さん
(古閑)

人生百年と言われる今、七十才からどう過ごすか、若い時は「教養・教育」に励み、年を取ったら「今日用・今日行く」を日常生活に取り入れ、変化ある日々を過ごす事が、健康寿命を長く保てると、何かのテレビ番組で聞いた。

昨年度、松島基地で航空自衛隊による「ブルーインパルス」の見学予定を知り、そういう企画もあるのかと思い入会した。しかし、コロナで県外に行けず、鶴岡・酒田の施設見学に変わった。昨年隊長が三川町出身のおかげで、庄内を空中飛行する事を知り、三川まで行き間近で、「ブルーインパルス」を見る事が出来、感激した。

今年度は、「なんでも鑑定団」の番組に出品し、高額の値段がついた掛軸を「酒田あいおい工藤美術館」館長さんが、本物と普通の掛軸を見せてくれた。講演で、テレビ局のスタジオや、控室での出演者の付き添いの家族が値段がついた時の反応、又本物と鑑定されてから、宅急便使用の返品の方法など、裏方の様子が知れて面白かった。

来年度の企画を楽しみにしています。



↑ 健康100歳クラブの様子



↑ 笹野観音（あじさい寺）
見学の様子

■和合歴史民俗塾



日向 一彌 さん
(添津)

町民が元気になれば、地域が元気になる。地域が元気になれば、町が元気になる。

生涯にわたって心身ともに健やかに暮らせるよう今一度、学ぶことの大切さを知り、何かに挑戦してみませんか？興味のあることから始めてみませんか？このたびあらためて生涯学習、成人講座の前書きを読みかえして、その深さを痛感しました。

「県内外に残る貴重な文化財をめぐり、私達の生活の歴史や、文化財の原点を探ります。」が主旨の和合歴史民俗塾は、何かとせわしい現代社会で気楽に気軽に掛ける機会をいただいて大変嬉しいことでした。行ってみたい、見てみたいと思いながら行けなかった、薪能とか流鏑馬、林家舞楽・・・新庄まつりもテレビでしか見たことがなかったので、予想以上の規模と山車のすばらしさに感動しました。事前に座学で学ぶことができるのも、この塾の企画のすぐれた点だと思います。

事務局の皆さんに感謝申し上げますとともに、これからも参加したいと思います。



↑ 県指定無形民俗文化財
豊烈打毬の講義の様子



↑ 山形県立博物館見学の様子

■放課後子ども教室「わごうの広場」

現役を引退して平凡な毎日を送っていたところ、声を掛けて頂き、「わごうの広場」に参加させて頂きました。最初は不安でしたが、子供達に笑顔で「こんにちは」と挨拶され「大丈夫」かもと決心しました。低学年の子達と絵を描いたり、工作をしたり男の子達は、創った物で活発に動き回るので怪我等しない様に注意しています。

遊んだ後は、全員ホールで学習の時間です。宿題をやったり、他の勉強をしてお帰りとなります。

“子供は国の宝”とよく言われますが、本当にその通りだと思います。これから先、どんな夢に向かって、大人へと成長していくのかとても楽しみです、この大事な時期の1ページに私も参加させて頂けましたことに心から感謝しています。最近ではコロナ禍の為に子供達とも会えませんが、一日も早く消滅し、又あの元気な笑顔を見せてもらいたいです。



長南 常子 さん
(連枝)

5年間参加してくれた6年生のみんなからも感想をいただきました。

- わごうの広場では、いろんな場所で自分の好きな遊びができるし、宿題もはやく終わらせることができるので、いいと思いました。 石崎 夏帆 さん (廻館)
- わごうの広場は、みんなが参加することができ、友達と遊んだり、自分のやりたい事ができるので友達との仲もより深まっていくなと思いました。 石崎 満帆 さん (廻館)
- 「わごうの広場」は、友達や、他学年と遊んで仲を深めることができる所です。たくさんの人とふれ合うことができ、友達と遊べて楽しく過ごすことができました。 澁谷 真風 さん (南野)
- 私は、「わごうの広場」に参加して良かったと思います。友達と教え合いながら宿題をしたり、他学年と遊んだりなど、いい機会になりました。 長南 颯希 さん (沢新田)
- 私は「わごうの広場」に5年間参加しました。学校とはちがった遊びができる事が楽しかったです。また、夏休みに水族館や動物園に行った事も楽しい思い出です。 成澤 紅羽 さん (西袋)
- わごうの広場では、友達との仲を深めるだけでなく一緒に宿題をしたり学年問わず仲良く遊ぶ事ができてうれしかったです。これからもわごうの広場が続いてほしいです。 樋渡 絢音 さん (堤新田)
- みんなと仲よく遊べたし、地域の人にあいさつをしっかりとできたのでよかったし、楽しかったです。 樋渡 樹理 さん (堤新田)



↑ 今年度の活動の様子

人生100年時代

社会福祉法人庄内町社会福祉協議会
庄内町地域包括支援センター
立川サブセンター
主任介護支援専門員 今野 政嗣



～人生100年時代に備えた健康管理～

元気に自立して生きることのできる期間を示す「健康寿命」と「平均寿命」の差をいかに縮めるかが、人生100年時代を生きる私たちにとっての課題となりそうです。

毎日の食は健康の土台ですが、食べ過ぎは肥満のもとになり、塩分や油の摂りすぎは、心臓や脳の病気を発症するなどのリスクを高めます。また、痩せ過ぎても骨量減少や虚弱が心配されます。栄養バランスのとれた適切な量の食事を1日3食摂って、適正体重の維持を心がけましょう。運動すれば、エネルギーが消費されて内臓脂肪が減少し、血管や心臓が強化されるうえ、高血圧や糖尿病、肥満、結腸がんなどのリスクも下がります。理想は、歩くことと同程度の緩やかな運動を1日に30～60分、週3回以上行なうこと。まずは、1日10分間、今より多く体を動かしてみましょう。睡眠時間が不足したり、眠りの質が悪かったりすると、肥満、糖尿病、心筋梗塞や狭心症などにかかりやすくなります。

健康寿命を延ばす秘訣は、「食事」「運動」「睡眠・休養」にあり。

「食事」「運動」「睡眠・休養」を上手に管理し、生活習慣を改善する一番のコツは、いきなり大きく変えるのではなく、できることから少しずつ取り組むことが重要です。



庄内警察署
菅原 直樹
(第四学区担当)

わごう駐在所

～災害発生時の避難を見据えた適切な準備を～

地震、津波、大雨といった災害は、土砂崩れ、道路や家屋の損壊、家屋浸水などが付随して発生する場合があります。皆さんの生命や生活環境に多大な影響を及ぼすおそれがあります。

災害発生時の警戒レベル4「避難指示」では危険な場所から全員避難と定められており、適切な避難行動を行うために以下の4つのポイントについて日頃から考えておきましょう。

○避難場所への立退き避難

市町村が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。

災害時には市町村のホームページ等を確認してください。

○安全な親戚・知人宅への立退き避難（ハザードマップで安全性確認）

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

○安全なホテル・旅館への立退き避難（ハザードマップで安全性確認）

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。

○屋内安全確保

自宅に居ても安全かどうか、ハザードマップで確認

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
- ② 浸水深よりも居室は高い
- ③ 水が引くまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分かを確認しましょう。



受賞おめでとうございます!!

令和3年度庄内町総合表彰式

庄内町総合表彰式が1月6日(木)に町役場で行われ、それぞれの分野で功績のあった方々へ表彰状、感謝状が贈られました。

【表彰状】

齋藤 真希(南 野) スポーツ振興功労

工藤 浩喜(新田目) 消防功労

【感謝状】

佐藤 敦(廻 館) 地方自治功労

檜山喜美一(京 島) 地方自治功労

富樫 林治(沢新田) 地方自治功労

阿部 耕治(沢新田) 地方自治功労

菅原 正志(南 野) 地方自治功労

故 志田 征子(古 関) 社会教育振興功労

工藤 久美(古 関) 社会教育振興功労

医療法人 阿部内科胃腸科医院(南 野) 社会福祉功労

令和3年度庄内町スポーツ協会表彰式

庄内町スポーツ協会表彰規程に基づき、次の方々が受賞されました。

【勲功賞】 齋藤 真希(南 野) 東京女子体育大学3年

【栄光賞】

陸上

齋藤 泰希(南 野) 鶴岡工業高校2年

斎藤 綾菜(沢 新 田) 酒田光陵高校2年

安藤 良馬(小出新田) 余目中学校 2年

バレーボール

加藤真理子(返 吉) Windy余目

川井 れな(古 関) Windy余目

剣道

齋藤 真椰(西 袋) 余目剣友会

齋藤 真実(西 袋) 余目剣友会

齋藤真紀子(西 袋) 余目剣友会

加藤 心愛(主殿新田) 余目中学校3年

卓球

大滝瀬莉葉(西 袋) 余目中学校3年

齋藤 妃菜(南 野) 余目中学校3年

加藤 光咲(主殿新田) 余目中学校2年

土田 結葉(廻 館) 余目中学校2年

伊藤 優羽(西 袋) 余目中学校1年

ソフトテニス

斎藤 大馳(沢 新 田) 余目中学校2年

乙坂 柚稀(小出新田) 余目中学校2年

ソフトボール

齋藤 璃奈(連 枝) 鶴岡東高校3年

アーチェリー

富樫 心春(福 島) 鶴岡北高校2年

【奨励賞】

陸上

齋藤愛梨沙(連 枝) 余目中学校3年

渡會 花(吉 方) 余目中学校2年

安藤 良馬(小出新田) 余目中学校2年

佐藤 旭(南 野) 余目中学校1年

体操

佐藤 華音(大 真 木) 余目第四小学校6年

剣道

三浦 未陽(福 島) 余目中学校2年

バスケットボール

高橋健太郎(返 吉) 吹浦クラブ

ソフトテニス

斎藤 大馳(沢 新 田) 余目中学校2年

乙坂 柚稀(小出新田) 余目中学校2年

齋藤 碧海(吉 方) 余目中学校2年

「便利屋わごう」 利用しませんか

「便利屋わごう」はトライアル期間で開催中です。現在 2 名の方よりご利用いただいております、4 月からは本格運用の予定です。

「便利屋わごう」は買い物支援や移動支援、その他ちょっとしたお手伝いなどでいつまでも安心して住み続けるための地域の支え合い活動です。

65 歳以上のひとり暮らしの方や高齢者のみの世帯の方に、日常品の買い物などの困り事をお手伝いします。

詳しくは和合の里を創る会事務局（余目第四公民館内）Tel：0234-44-2162 までご連絡ください。

余目第四公民館は 余目第四まちづくりセンター に変わります

令和 4 年 4 月 1 日から余目第四公民館は余目第四まちづくりセンターに変わります。それに伴い、開館時間が下記の通り変更になります。

■ 月曜日～土曜日

午前 8 時 30 分から 午後 9 時

※ただし 3 日前までに利用申請がない場合は

午前 8 時 30 分から 午後 7 時

■ 日曜日、祝日

午前 8 時 30 分から 午後 9 時

※ただし 3 日前までに利用申請がない場合は

午前 8 時 30 分から 午後 5 時

亀ノ尾の里資料館の 開館時間が変わります

亀ノ尾の里資料館の開館時間が

午前 9 時から午後 4 時 30 分に変更となります。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



和合の里を創る会が 前田野目農村運動公園の 指定管理者となります

令和 4 年 4 月 1 日から和合の里を創る会が前田野目農村運動公園の管理・運営を行います。

■ 新年度の予約受付

・オープン 4 月 15 日（金）

・4 月 1 日（金）9：00 から

余目第四まちづくりセンターの窓口または電話で 4 月 15 日（金）から 7 月 1 日（金）までの利用受付を開始します。

※7 月 2 日（土）以降の予約は、利用日の 3 ヶ月前から可能です。

■ 問い合わせ

和合の里を創る会事務局（余目第四公民館内）

Tel：0234-44-2162

編集後記

「4 月から公民館はまちづくりセンターへ変わります。」といっても「具体的になにが変わるの??」と思っている方もいらっしゃると思いますが、余目第四まちづくりセンターになっても余目第四公民館のときと変わらない活動をしていきます。また、余目第四まちづくりセンターの愛称「和合館」は皆さんから親しみをもって呼んでいただける愛称になればと思っています。

